



MMジュニア記者紹介

みなとみらいエリアの魅力を取材するMMジュニア記者を紹介し(学年順)

ゆきだるま (小学4年生)

趣味は電子ピアノを弾くこと、絵をかきこと、世界のドメインを調べてまとめることです。

紗雪 (小学5年生)

趣味はダンスと読書。ダンスは週6で頑張ってます！ジュニア記者でいろいろ経験ができたと思います。

こばや (中学1年生)

鉄道と音楽が好きで、ギターとピアノをやっています。

角さん (中学3年生)

特技は水泳。しゅみは読書。本を読むと他のことがなにもできなくなってしまうため、よくおこられます。

ピョン ソヨン (小学4年生)

好きな食べ物はすしでお絵かきが好きです。取材で新しいことに会いたいです。

いっち (小学5年生)

運動する事が好きで、学校でフリスビーでのドッチボール(ドッチビー)をやるのが楽しい！

323系ファン (中学1年生)

陸上部にはいっています。鉄道ファンです。面白い記事を書けるよう頑張りたいと思います。

出口 遼馬 (中学3年生)

ラーメンと絵を描くことが好き。自分の記事を色々な人に読んでもらえることが面白そうなので記者を始めました。

R.H.822 (小学5年生)

体を動かすことが好きで、とくに野球が好きです。新聞を書いてみたい記者を始めました

秋山琴音 (小学6年生)

生き物大好き。記者になったのはもっとみなとみらいの魅力を色々知ってもらいたいから。

山本未来 (中学1年生)

ギターを弾くこと、小説を読むことが好き。みなとみらいの魅力を発信し、たくさんの人に笑顔になって欲しいです。

山本承太郎 (高校2年生)

バスケットと横浜を愛する男子高校生。取材を通して感じたことを、みなさんと共有したいです！

MMジュニア記者 5期生募集

MMジュニア記者応募フォーム <https://x.gd/FaeTe>



ジュニア記者になれる人は...

- 2022年4月時点で小学4年生から概ね高校生まで。
- みなとみらいでの活動が中心です。このエリアでの活動にひとりで参加できる人。
- メールでのやりとりができる人(保護者の方の代行可)

応募は...

左のURL、あるいはQRコードから、お名前、年齢、住所、電話番号、記者になってやってみたくてを書いてご応募ください。

その他の説明...

- 2022年5月から2023年3月まで年間を通しての活動です。
- 年間の参加費用(ボランティア保険、その他文具費用)として1000円かかります。

ジュニア記者の「わたしが市長になったら、みなとみらいをこうしたい！」

景観について

みなとみらいに自然を増やす。歩道にお花を増やす。それに、みんなの心が和ませることができる。

工事中が多いので、その壁も活用しデザインする。ドイツは仮囲いに元の建物が印刷され景観を損なわない工夫がある。

桜木町の駅前を芝生にする。

汽車道の入口の車止めは汚いので象の鼻の、象の車止めのようにデザインしたものに替える。

学校給食問題は...

中学生には給食が食べられるようにする。つくりたての暖かいものを食べたい。小学校で中学の給食と一緒に食べたいのが。

こんなイベントをする！

一年に数回フリーマーケットを街全体で行う。リサイクルで地球にもいいと思う。

みなとみらいにある会社がみんな参加する「みなとみらい万博」を実施する。数年に一回やりたい。市民も楽しめるし、企業にとっても宣伝にもなる。

みなとみらいのまち全体の地面に「人をダメにするソファ」を敷き詰めるイベントを行う。

そもそも・・・中学校がみなとみらいの周辺にないのが困る。たとえば神奈川大学の中に中学校 2 クラスくらいをつくる。神奈川大学は学食がたかくあるので給食には困らない。校庭がないけど、VRでバーチャル体育してもいい。

交通や歩道について

みなとみらいって歩きやすそう意外とそれぞれの区画が分断されている。横浜駅や高島町からのアクセスがわかりづらい。だからみなとみらいに歩道橋をつけて歩きやすくする。

私は環境保護のために、自転車やキックボードが通れる道や歩きやすい歩道をつくりたい。でこぼこではなく、平らにしたい。

みなとみらいは車が渋滞するので、電車やバスで来た人にポイントをつけるなどして特典をつけて、車で来る人を減らす。

今は暴走族とかつるさいけど、全部電気自動車AIが運転するようになったら、暴走族もいなくなる。時間の問題だ。

観光地としての魅力を高めるため、人力車を誘致する。コブクロみたいな路面電車を復活させる。汽車道に白ツツを走らせる。

編集後記

ジュニア編集局は、持続可能なまちづくりを目指します



編集会議の様子

みなとみらいエリアの魅力を子どもたちに取材してもらい、発信していく活動を楽しんでいます。まちを取材し、まちを愛することもまちが増えることは、持続可能なまちづくりにつながります。ジュニア記者の活動をぜひ応援してください。新聞を配架できる場所も募集しています。

認定 NPO 法人ミニシティ・プラス

045-306-9004 (担当: 岩室晶子) minicityplus@gmail.com



第4号 2022年(令和4年)2月発行

編集 MMジュニア編集局

岩室晶子 橋本みなみ 平戸由美

発行 認定 NPO 法人ミニシティ・プラス

<http://mmjr.minicity-plus.jp/>

(e-mail minicityplus@gmail.com)

協力 神奈川大学 経営学部 国際経営学科

品田凌斗 秋元瑠南 菅谷菜月



第4号 みなとみらい Jr. タイムズ

みなとみらい 21エリアは、横浜市の六大事業として整備されてきた横浜市の中でも新しいまちです。商業施設やオフィスなどを中心に、計画都市として成熟する中、暮らす人々も増えました。小学生から高校生までのジュニア記者が、このまちの多様な魅力を子ども目線で伝えます。MMジュニア記者の活躍にご期待ください。

【特集】横浜鉄道遺構



横浜みなと博物館学芸員奥津さんにお話を聞きました。



汽車道とそれにかかる橋梁。橋の部分にはプレートが貼られている。



旧横浜港駅プラットフォームが復元されている。かつて、この近くに駅がありました。



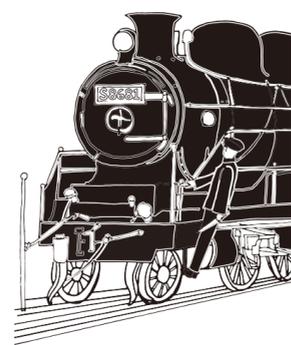
D51 516は本牧市民公園に保存されていて間近に見ることができる。

みなとみらいのまちなみを歩いて目に止まるのが、もともと電車や汽車が走っていた線路の痕跡のある道や赤レンガ倉庫などです。今回は、みなとみらいのまちなみと深く関わりのある歴史について、横浜みなと博物館学芸員の奥津さんにお話を聞きました。

横浜開港当時1859年(安政6年)止まるのが、もともと電車や汽車が走っていた線路の痕跡のある道や赤レンガ倉庫などです。今回は、みなとみらいのまちなみと深く関わりのある歴史について、横浜みなと博物館学芸員の奥津さんにお話を聞きました。

こうして横浜のまちなみが出来上がった (記事 山本未来)

横浜臨港線を走った列車たち (記事 小林廉)



「ポルトトレイン」 船の出航に合わせて運行された列車が「ポルトトレイン」です。ポルトトレインは、サンフランシスコ航路の船の出航日に限って、東京駅(横浜港駅)から一往復運行したもので優等客車今と言うグリーン車のようなものを連結していました。そんなポルトトレインですが、氷川丸の最終航海とともに運行が終了となりました。

横浜高速鉄道、みなとみらい線取材!

みなとみらい線を運営する横浜高速鉄道株式会社を取材させていただきました。みなとみらい線のひとつひとつの駅はすべてデザインが違います。横浜の街と一体感を作るため、歴史や特徴に合わせてつくっているからです。また、みなとみらい線は、すべての人に「優しく、わかりやすく、使いやすい」空間を目指してデザインされました。

空間は、過去と未来の融合を表すデザインになっています。また、馬車道の過去を表すため、壁にレンガを使っています。横浜銀行本店では地上のふんいきを表した街灯があります。金波、銀波というアートも飾られています。



みなとみらい駅のホームにはまちのつながりを表す街灯がある

みなとみらい駅は海を感じさせる青色を中心にデザインされています。駅の壁がほこほこしています。それは波をイメージしています。駅のホームには地上のふんいきを表した街灯があります。駅のホームから吹き抜けて地上のクイーンズスクエアとつながっています。このような駅は他にあまりないようです。

新高島駅は昔、海の中にあつたところでした。そのことを表し、ホームはスピード感のある水の流れをイメージしています。また、エスカレーターの位置を分かりやすくするために鋼製のアートを設置しています。

このようにひとつひとつの駅のデザインには意味があり、すべて違います。実は各駅の駅名標も駅のイメージに合わせてデザインが少しずつ違います。みなさんもみなとみらい線にのるときには、ぜひ確かめてみてください。(記事: ピョン ソヨン)